さぁ、答え合わせをしよう！

第 27 週目 1／25 行ってみよう～青森県（あおもりけん）からの出題

※ココを見てね！▶行ってみよう～青森県（あおもりけん）

1. 青森県で、旧石器時代（きゅうせっきじだい）の遺跡がみつかることは少ないようです。それは、なぜですか？
正解：①火山灰(かざんばい)が厚(あつ)く積(つ)もっているから

大昔の日本列島（れっとう）は、今より陸地面積（りくちめんせき）が広かったため、ひょっとしたら、旧石器時代（きゅうせっきじだい）の遺跡（いせき）は、海に沈(しず)んでしまったのかもしれません。また、青森県（あおもりけん）は冬にたくさんの雪が積（つ）もる地域（ちいき）なので、雪の下にあるからみつからないのかもしれません。でも、青森県（あおもりけん）には、約20万年前から活動（かつどう）する「十和田火山（とわだかざん）」という活火山（かっかざん）があります。約15,000年前～12,000年前の間に、カルデラ内南部において断続的（だんぞくてき）に溶岩（ようがん）が流れ出し、爆発的噴火（ばくはつてきふんか）が起こりました。そう、正解は①火山灰(かざんばい)が厚(あつ)く積(つ)もっているからです。

2. 青森県（あおもりけん）で 15,000 年前の土器（どき）がみつかったのは、何という遺跡（いせき）ですか？
正解：②大平山元遺跡（おおだいやまもといせき）

正解は「お宝ベスト5」1つ目にある、②大平山元遺跡（おおだいやまもといせき）です。日本で1番古い土器（どき）といっても、みつかったのは小さなカケラで、ススやおこげの様子（ようす）は、よく見ないとわかりません。でも、こうした小さな手がかりを見逃（みのが）さず、ていねいに調べたおかげで世界的にも最古級（さいこきゅう）とされる貴重（きちょう）な資料（しりょう）となりました。そう考えれば、考古学（こうこがく）って、今と昔をつなぐ大切な学問（がくもん）だと思いませんか。

3. 青森県からみつかった土偶（どぐう）は、胴体（どうたい）のデザインに特徴があるようです。さて、それはどんな形？
正解：②逆三角形（ぎゃくさんかっけい）

「土偶（どぐう）」は、動物や妊婦（にんぷ）をかたどったもの、宇宙人（うちゅうじん）？のような顔など、個性（こせい）ゆたかでユニークなものが多く、キーホルダー等グッズの売れ行きもダントツ人気です。正解は「お宝ベスト5」5つ目の土偶（どぐう）の説明（せつめい）にある通り、②逆三角形（ぎゃくさんかっけい）です。こうしたデザインは、青森県（あおもりけん）独特（どくとく）のもののようですね。

4. 十腰内 2 遺跡（とこしない 2 いせき）から出土した土製品は、動物の形をしています。次のうち、どれですか？
正解：①イノシシ

正解は「お宝ベスト5」4つ目に写真付きで紹介（しょうかい）されています。わかりますか？ 本物そっくり！ 縄文時代後期（じょうもんじだいこうき）のものだと思えないくらい、リアルに作られた土製品（どせいひん）ですね。家族（かぞく）や仲間（なかま）のだれかのために、子宝（こだから）や安産（あんざん）を願い、きっと心を込めて作られたんでしょうね。

5. よその地域の土器（どき）が発見されたことで、大昔から交流（こうりゅう）があったことがわかりました。それは、どこ？
正解：①北海道（ほっかいどう）

日本地図（ちず）を見ればわかるように、青森県（あおもりけん）は、本州（ほんしゅう）最北端（さいほくたん）の都道府県（とどうふけん）です。県の特徴（とくちょう）に、弥生時代（やよいじだい）から古墳時代（こふんじだい）にかけての遺跡（いせき）は少ないけれど、北海道（ほっかいどう）の土器（どき）がみつかり、交流があったと書かれていていますね。そう、正解は①北海道（ほっかいどう）です。現在、北海道（ほっかいどう）、青森県（あおもりけん）、岩手県（いわてけん）、秋田県（あきたけん）は、北海道（ほっかいどう）から北東北（きたとうほく）に残る数多くの縄文遺跡群（じょうもんいせきぐん）を人類共通（じんるいきょうつう）の宝として未来へ伝えるため、協力して「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録（せかいいさんとうろく）を目指して、取り組みを進（すす）めています。